

11/4 日 分科会(学び合い) ①～④

プログラム 11/4 日

分科会(学び合い)会場について

- 佐久平駅エリア
- 佐久平交流センター(メイン会場)
 - 佐久平プラザ 21
 - イオンモール佐久平
 - 佐久大学

※佐久平駅エリアの分科会場は、希望人数によって決定し、参加券に記載してご案内いたします。
佐久大学への移動は送迎バスが出ます。



1 分科会

居場所・サロン

定員 70名

地域とともに育む、サロンや縁側活動の魅力を発信! ～人とヒト、人と地域をつなぐハーモニー～

人口減少が進み、核家族化等による人間関係の希薄化など、あらゆる地域課題が顕在化している昨今、一人ひとりが役割や生きがいを高めていくためのサロンや縁側活動に期待が寄せられています。地域性や社会資源を活かした活動について、店だし(活動見本市)方式で参加者に伝えるとともに、参加者と一緒に学び、語り合います。



【出演者】佐久地域でサロン、縁側活動を行うグループ(10団体程度予定)
【ファシリテーター】調整中

企画・運営：御代田町社会福祉協議会、長野県長寿社会開発センター、長野県生活協同組合連合会、長野県社会福祉協議会

2 分科会

中山間地域

定員 50名

人を動かし、地域も動かす“5つの気”

人や地域を動かす“気”とは?【好き・その気・やる気・本気・元気】の5つの気です。5つの気が集まることで「活気」が生まれます。地域の中では、元々その土地に住む人、他の土地から移り住んだ人、熱い気持ちを持っている人、技術を持っている人など、さまざまな人が希望や可能性、地域への愛など、色々な想いを持って関わっています。地域づくり＝人づくりと言われるほど、人は地域づくりの大きな柱です。長野県の中山間地域から発信される、地域を考えるきっかけや地域を活かすアイデア、“人”や“気”について、全員参加型のパネルディスカッションで一緒に熱く語り合います。



【コーディネーター】石田 諒 さん(佐久市地域おこし協力隊)
【実践発表者・コメンテーター】調整中

企画・運営：川上村社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会

3
分科会

多文化共生

定員 40 名

互いを知り、この地で暮らそう
～「やさしい日本語」で「やさしい地域づくり」～

地域は、高齢者から子ども、外国籍の方、障がいがある方など、多様な暮らしがあり、支え合うことで成り立っています。地域の皆さん一人ひとりが必要な情報を得て、コミュニケーションをとることができるよう、誰でも分かりやすい表現や言葉遣いを意識した「やさしい日本語」が、いま注目されています。

災害などの非常時にも「やさしい日本語」によって必要な情報を得ることで、地域で孤立することを防ぐことができます。また、外国からの観光客などの皆さんとの情報共有方法としても活用ができます。

この分科会では、災害時の体験等を通じ「やさしい日本語」が必要とされる意味を学び、住民みんなでやさしい地域をつくることをめざして、参加者の皆さんと一緒に考えます。



【講師】羽賀 友信さん(新潟県・長岡市国際交流センター センター長)
【報告者】沙 軍崗(サグンコウ)さん、楊 艶(ヨウエン)さん(東日本大震災被災経験者)

担当：春原 直美(個人ボランティア)、佐久市社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会

4
分科会

若者の社会参加

定員 70 名

若者がリードする社会貢献活動
ファンドレイジングの今

ボランティアや NPO などの活動を通じて、参加する若者が「少ない!」という声を耳にする機会があります。しかし、若者や学生は、こうした社会貢献活動や寄付などを集めるファンドレイジングに本当に関心がないのでしょうか。「関心はあるが参加の仕方がわからない」と思う若者の割合が高いという調査結果もある中で、地域社会の一員として積極的に活動に参加できる「若者本位」の意識づくり、場づくりが一層求められているのではないのでしょうか。

この分科会では、学校における社会貢献教育や地域での体験プログラムの提供といった実践を共有し、若者や学生が社会貢献活動、ファンドレイジングなどに参加する意義を確認し、それを促進するための課題や解決に向けたアクションについて考えます。



【講師】藤木 正史さん
(東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭/日本ファンドレイジング協会 社会貢献教育ファシリテーター)

【事例発表者】宮下 俊哉さん(真田の郷まちづくり推進会議)
中城 隼人さん(長野県 NPO センター)
東京学芸大学附属国際中等教育学校 ボランティア部学生
長野県 NPO センター youth reach 学生スタッフ

【コーディネーター】大塚 香織さん(日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー 社会貢献教育ファシリテーター)

企画・運営：長野県共同募金会、長野県 NPO センター、長野県社会福祉協議会

11/4 日 分科会(学び合い) ⑤～⑧

5
分科会

持続可能性とボランティア

定員 100名

ボランティア活動を文化として根づかせる
～持続可能な社会を実現するために～

ボランティア活動は、地域に密着した「地縁型」と特定の課題の解決をめざす「テーマ型」に分類されてきました。しかし、社会的孤立の問題などは、さまざまな要素が絡み合っており、従来の分類ができない地域課題といえます。

こうした「ごちゃまぜ」の地域課題を抱える地域社会において求められるのが、「持続可能性」という視点です。実現のためには、市民一人ひとりが、「ごちゃまぜ」の課題解決に向けて、ボランティア活動などに主体的に参加することが必要です。ボランティア活動が市民一人ひとりの生活様式に深く根づく＝「文化」として根づくことが重要ではないでしょうか。

この分科会では、ボランティア活動を文化として根づかせるために必要なことを、実践事例を交えながら、参加者のみなさんと一緒に考えます。



【コーディネーター】

阿部 陽一郎さん(「広がれボランティアの輪」連絡会議 提言プロジェクトチーム/中央共同募金会 事務局長)

永井 美佳さん(「広がれボランティアの輪」連絡会議 提言プロジェクトチーム/大阪ボランティア協会 事務局長)

【助言者】山崎美貴子さん(「広がれボランティアの輪」連絡会議 顧問/神奈川県立保健福祉大学顧問・名誉教授)

【実践報告】各地で実践を進めるみなさん(調整中)

企画・運営：「広がれボランティアの輪」連絡会議、川上村社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会

6
分科会

子育て文化と「頼り合い」

定員 30名

頼り合いを文化に
～アズママの挑戦から学ぼう～

ちょっとした手助けがほしいとき、一人で頑張るのではなく、声をあげ、同じ想いを持つ人と出会い、相談し、助け合うことで地域社会が変わっていきます。

スマートフォンの活用、企業とのパートナーシップにより利用者負担がないなど、ユニークな仕組み「子育てシェア」を全国で展開する AsMama(アズママ)の活動に触れ、私の地域でも新しい助け合いをデザインしてみませんか。

この分科会では、Asmama の実践事例から、誰もが気軽に頼り合えるために、地域のキーパーソンとなる支え合いの推進者がどんな工夫をできるか、参加者の皆さんと情報交換しながら考えます。明日からの活動のヒントを持ち帰り、それぞれの地域に“頼り合い”が根づくことをめざします。

【出演者】Asmama ママサポーターのみなさん

跡部千慧さん(静岡県静岡市)、早川佑桂さん(長野県長野市)

木村かほりさん(長野県茅野市)ほか

企画・運営：株式会社 AsMama(アズママ)、長野県社会福祉協議会



7
分科会

災害支援

定員 40名

災害支援の力をより活きた暮らしにつなげるために ～みんなの力を一つにする可能性～

毎年、全国各地で地震や豪雨等による災害に見舞われていますが、その都度、災害ボランティアセンターが立ち上がり、ボランティアによる支援活動が、被災者の生活復旧や自立を支える大きな役割となっています。

一方、東日本大震災や熊本地震等の大規模災害の成果や教訓からは、ボランティア・企業・NPO 等との災害支援に関わる情報共有・支援調整の仕組みに、地元大学が加わる有効性が見えてきました。

大学などの地域拠点にて、ボランティア・企業・NPO の情報共有や発信を行う総合調整機能の可能性を探ります。

【コーディネーター】

石井 布紀子さん(さくらネット 代表理事/災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 幹事)

【実践報告】調整中

企画・運営：松本大学、ローカル・コミュニティ、長野県生活協同組合連合会、長野県社会福祉協議会



8
分科会

生活支援

定員 40名

地域づくりコアメンバー &生活支援コーディネーター大集合！

生活支援体制整備事業の展開により、生活支援コーディネーター(SC)の配置が全国で進んでいます。

全国各地の地域づくりコアメンバーとSCがどのように出会い、つながり、活動に取り組んでいるのか、誰もが羨むフレキシブルな相思相愛の関係づくりのヒントを探ります。

制度創設前から、長年地域福祉の推進に連れ添ってきた熟練カップルも大募集！
どうして長年連れ添えたのか？波乱万丈の関わりの中で、きらりと光る二人の関係性にも焦点を当てながら、住民主体の地域づくりに向けて、実践者と支援者、お互いの出会い方・付き合い方を考えます。

【コーディネーター】高橋 望さん(さわやか福祉財団新地域支援事業担当リーダー)

【実践報告】調整中

企画・運営：さわやか福祉財団、立科町社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会



11/4 日 分科会(フィールドワーク) ⑨ ~ ⑩

プログラム 11/4 日

9
分科会

情報交流の場づくり

定員 20名

軽井沢から発信!! 住民参加のまちづくり

【体験】景勝地 雲場池 清掃ボランティア
【見学】軽井沢町ボランティアセンター運営委員会「月例情報市庭」

多様な社会性に富む軽井沢町で始まった月例情報市庭は、複雑多様化する生活課題の解決の糸口を模索し、広がる住民相互のネットワークの構築をめざし、多くのボランティア・地域活動者の情報交流の場となっています。住民自らが立ち上がり、地域課題の解決をめざし、行動する姿、「互恵の形」を学びます。

【出演者】雲場池を美しくし隊メンバーのみなさん
「月例情報市庭」のメンバーのみなさん



企画・運営：軽井沢町ボランティアセンター運営委員会
軽井沢町社会福祉協議会

11/3(土) 宿泊(軽井沢プリンスホテルウエスト推奨)
11/4(日) 8:00 集合(集合場所: 宿泊A)
↓
体験・見学
↓
12:20 佐久平交流センター着



10
分科会

まちづくり

定員 20名

まちのにぎわいと活性化は市民のチカラで

【訪問先】小諸市「駐車場ガーデン」「ほんまち町屋館」ほか

古い歴史を持つ小諸市。駅前ににぎわいづくりに向けた、参加型の公園づくりが始まりました。市民が夢を語り合うワークショップからはじまり、デザインや園芸の専門家が知恵を出し合い、NPOやボランティア組織が立ち上がり、誕生したのが「駐車場ガーデン」。地域の拠点として集う人の輪が広がっています。

駐車場ガーデンを中心に、市民の想いや願いをどのように活かしてまちのにぎわいづくりに取り組んでいるのかを学びます。

【案内人(実践報告、コーディネーター)】

荻原 礼子さん
(まちづくりプランナー
NPO 法人こもろの杜 副理事長)



企画・運営：こもろ観光局、NPO 法人こもろの杜、小諸市社会福祉協議会

11/3(土) 宿泊
(小諸グランドキャッスルホテル推奨)
11/4(日) 8:45 集合(集合場所: 小諸駅)
↓
体験・見学
↓
12:20 佐久平交流センター着



11
分科会

健康長寿

定員 30名

農村医療・地域医療のパイオニアに学ぶ・健康長寿の地域づくり

農村医療・地域医療の先進地である佐久地域は、現在の地域包括ケアシステムの原点とも言える実践が展開され続け、その歴史は住民と専門職の意識も変えた活動として、今でも地域で脈々と取り組まれています。

11/3 【宿泊施設で夕食交流会】
(土) 農村保健研修センター(宿泊F) 健康体操の体験
農村医療の現代社会における展開などを学びながら夕食交流会
[A・B班(各15名)にグループ分けを行います。]

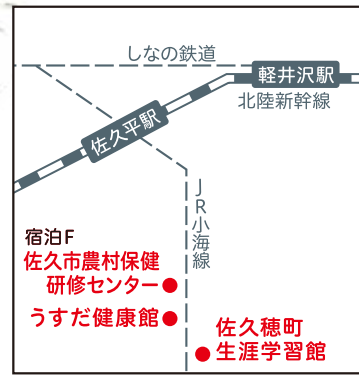
11/4 【A班/見学・講義】
(日) うすだ健康館「農民とともに」をスローガンに
農村医療を開拓した佐久総合病院。病院と住民
がつながる拠点の一つ「うすだ健康館」で、農村
医療の現代社会における展開を学びます。

【B班/参加・体験】
健康づくりイベント「メリアワンダー」
佐久穂町で、千曲病院と連携して、普段の生活の中で無理せず健康寿命を
伸ばそうと健康体操を推進するグループが育てた、町をあげての一大イベ
ント。ご当地ソングに合わせた健康体操や、健康づくり活動事例を学びます。



11/3 (土) 16:30 大賀ホール発 (宿泊F)
佐久市農村保健研修センター
18:00 宿泊施設で夕食交流会

11/4 (日) 9:00 センター出発
↓
うすだ健康館
佐久穂町生涯学習館
↓
12:20 佐久平交流センター着



【案内人】うすだ健康館
佐久穂町地域いきいき健康クラブ
企画・運営：佐久穂町社会福祉協議会、南佐久郡内社会福祉協議会
佐久市社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会

12
分科会

学生・若者出番

定員 25名

学生もいきいき! よってらっしやい“いきいきサロン”

【実践報告】志賀下宿サロン×佐久大学生の取組み/宿泊B 【先進地域事例】(調整中)
【体験】新子田サロン体験(新そば試食!など)/新子田世代交流館

多くの団体、地域が、ボランティア活動や地域活動に若者の関わりを求めています。地域と若者がつながるための仕掛けは若者に届いているのでしょうか?
「健康長寿都市」を宣言している佐久市でも、地域住民主体で開催する「いきいきサロン」は、高齢者の大切な生きがい、楽しみになっています。
このフォーラムにあわせて、若者が地域住民とともにこのサロンの企画・運営に関わってみました。この取り組みを振り返りながら、地域と若者がつながるヒントときっかけづくりを、実際のサロンを体験しながら学びます。

【案内人】
新子田サロン
志賀下宿サロンのみなさん
佐久大学の学生のみなさん

企画・運営：佐久大学(信州短期大学部・看護部)、サロン世話人
佐久市社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会



11/3(土) 宿泊(佐久平プラザ21 推奨)

11/4(日) 9:00 集合(集合場所:宿泊先B)
実践報告等
↓
10:30 新子田世代交流館
↓
12:20 佐久平交流センター着

